	令	和6年	隻長	久手	市行政	評価	漂(	A票:	事業	<b>禁評価票</b>	()		対象年度			令	和5年	度	
事業番号					+1	地域いキいキライフ				1			担当課	長寿課					
		74	事業	業名	名 地域いきいきライフ:					推進 <del>事表</del> 			予算区分(款-項-目-中事業)			-2-3 地	或いきいき	ライフ	推進事業
					(大事業名) 一般介護予防事業								決算書ページ		2	5 ~	26		介護
	総	基本目標	4	誰も	がいきいき	と安心して暮らせるまち					事業開始の 平成29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に対して介護予防及び日常生活支援を行うことが定められたため、全					対して、地域 - め 全ての	数の実情に	応じた	効果的な
	合計	政策	3	いくこ	つになっても元	気でいき	きいきと輝	けるくらしの	推進	背景		生活支	を接総合事業」を開始することにな	ぶった。	J1 6/C/		10.000	· / I D.S.	1.60 Hui
	画	施策	(2)		介	護予防	方の推進	<u> </u>		市国	市民・民間事業者との連携協働の可能性両						者と協働	]可	
		開始年	芰		:	平成29年度													
	その	終了予定	年度	[	□ 年度 ☑ 未定														
	他	根拠法令	等	無															
		関連計画 第9期高齢者福				明高齢者福祉・介護保険事業計画													
		アウトプット (詳細はIIへ)								アウトカム(詳細はⅢへ)									
基本				業概要組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるまた、それがどうな			るもの。 (さるのか)			③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
基本情報	事業の概要・目的	□ 職員 対象の数: 【事業内容】		ー	、限に発揮 (り活動や	•••	いきい 者数( 【その	累計)( <sup>*</sup> 他の指標) 防ボラン	パー   ~R5) <b>]</b>	トナー登録	· 古数		講座に参加したいきいきラ パートナーが実際に地域サ 等で指導を行う。 果指標名) いきライフパートナー登録 (累計)の増加		業	市民が主体的に介護予の通いの場を創出、運とにより、健康づくりいが促進される。		営するこ	

			活動指標名	単位	基準値( 目標値( ※AP指		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】		基準値	0	見込	66				
			いきいきライフパートナー登録者数	人	目標値	190	実績	66				
			「マのル比無】		+	10			20	20	40	50
	活		【その他指標】		基準値	10	見込		20	30	40	50
п	活動指!	2	介護予防ボランティア登録者数	人	目標値	50	実績					
	標	3			基準値		 見込	l				
活動					 目標値							
活動状												
況					基準値		見込					
7		4			目標値		実績					
ウ												
トプ		事業	開始からの経緯									
ットの詳細)	エピ	平成全て	29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に の市町村が「介護予防・日常生活支援総合事業」	対して、地 を開始する	域の実情に ることになっ	:応じた効果 った。	的な介護・	予防及び日	常生活支援	を行うこと	が定められ	<b>いたため、</b>
	ソー	R5	(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成で	ぎきなかった	た場合はその	の理由						
		る件 和 6	の自主的な活動を支援するため、ボランティア請 数の増加には至らなかった。要因として、講座内 年度以降名称及び内容を変更する。 ため、5年度に次年度に向けた講座の勉強会をま	容が実際の								

		成	果指標名(中間成果をはか	るもの)	単位				反	は果指標の	推移と目	標					
П	成果指	いきい	きライフパートナー登録者 増加	数(累計)の	回	H30 年度 0		R4 年度 140		【現状】	R5 年月 90		R6	5 年度		R7	年度
	指標	成果達成状況									指標目標値の根拠						
	(C H	D	A.想定より良い B.想定 D.想定を下回っている														
事	E C		 評	いきいきライフパートナー養成講座を毎年度実施し、受課													
事業の成果	K )	者にいきいきライフパートナーの登録をしていただく を想定してたため、養成講座の定員数を目標としていいきいきライフパートナー登録者数が目標に届いていないことに加え、実際に地域の通いの場等を 主導するに至っていないため。												いた。			
•		今後の方向性(3年~5年先) 今後の方向性の理由															
課題分析		A	A.現状維持 B.拡充 市民が主体的に運営する通いの場を創出、維持することが市民の介護予防につなげるため、現在の講座内容であると、近の場等を主導していくことができないため、実践的講座を開催し、名称も変更し「介護予防ボランティア」を養成してい C.縮小 D.廃止 く。												通い てい		
析(ア	加 え	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												)			
ウ	へる変化	見直	[しの余地のある取組名	見直しの 方向性											直し 経年度		
トカムの詳細	) (ACT	1		□ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 廃止													
霖)	10 N)	2		□ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 廃止													
		3		□ 拡充 □ 改善 □ 縮小 □ 廃止													

		R7	年度の費用(	R6年度比)		(	単位:千円)	R6(2024)年度	R5(202	3)年度	R4(202	2)年度		
			A. 現状維持	B.拡充			事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
		Α	C. 縮小	D.廃止			争耒貸	4, 950	2,640	2,640	2, 640	2,640		
			理由				合計額	4, 620	2, 310	2, 310	2, 311	2, 310		
						特	(内 国費)	528	528	528	528	528		
		  市民が主体的に運営する通いの場を創				定財	(内 県費)	330	330	330	330	330		
		出、維持す	することが市瓦	民の介護予防につ		源	(内 諸収入)	0	0	0	0	0		
		ながるため。					(内 その他)	3, 762	1, 452	1, 452	1, 453	1, 452		
	令和						一般財源	330	330	330	329	330		
	和 7		積算額	Į .			度予算の内訳・	<細々節名、 う 託 2,640千円(2		予算額)>				
		委託料 2,310千円												
	予	2, 310 + 13				総合事業推進支援業務委託 2,310千円(0千円)								
IV	算の													
書	方向				年間の									
費用	性				推移									
	P				19									
	L													
	A N													
	<u>"</u>													